

アコモード タイムズ

第16号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特養ホーム
- デイサービスセンター
- ヘルパーステーション
- 訪問入浴介護事業所
- 在宅介護支援センター
(居宅介護支援事業所)

アコモード

千葉県我孫子市布佐1559-2
TEL.04(7189)5201(代)・(7181)6666



明るく楽しく のびのびと

(障害をお持ちの方々へのサービス)

障害をお持ちの方々を対象とした支援費制度によるサービスが、アコモードにおいて始まったのは、平成15年4月。約2年がたとうとしています。これまでの歩みと現在の状況、さらに平成17年2月より実施されている、シヨートステイサービスの内容等についてお知らせします。

○ 訪問介護部門

訪問介護部門におけるこのサービスは、平成15年4月より開始されました。

サービス内容は身体介護、家事援助とお出かけの際にさまざまな援助を行う、ガイドヘルプがあり、対象は身体障害者、知的障害者、障害児童となっております。現在約30名弱の利用者の方がおられ、これはお年寄りの方への訪問介護サービスも含めると、全体の約4分の1を占めます。

職員によると、利用者の方、ご家族

とのコミュニケーションを重ねるうち、援助の仕方が少しずつ分かってきたのですが、最初は高齢者との違いが分かるまで、苦労があったそうです。

そんな中、感情をなかなかお顔に出されない方が、サービスの中、少しずつにこやかに変わってこられるなど、喜ばしいこともあったそうです。

ご家族の方は特に、この制度のおかげで、サービスの選択の幅が広がったことを喜ばれているようです。

○ 通所介護部門

支援費制度によるサービスとは違いますが、健康福祉千葉方式特区事業によるこのサービスは、平成16年2月より開始されました。

利用者はそれぞれ利用されている施設での生活が終わってから、アコモードに通われています。アコモードでは主に入浴、食事、レクリエーションなどをされます。現在(平成17年1月)、1日に7、8名の方が利用されています。

職員によると、新しいサービスだけに、最初サービスを理解していただく

のにとても苦労したそうです。現在は利用者数が増え、サービスの質の低下につながらぬよう、努力の毎日ということです。

○ 短期入所生活介護部門

短期入所生活介護部門におけるこのサービスは、平成17年2月より開始されました。これは、障害をお持ちの方々や夜宿泊され、翌朝学校その他施設へ通われるまでの、生活を支えるサービスです。

このため、現在外部よりの指導者を招き、職員間の研修を行うなど行っております。



元氣な笑顔に

会いたくて

(ご家族とのふれあいの時)

アコモードにお住まいの皆さん、日頃から楽しみにされているこのついにご家族に会うことがあげられます。土曜、日曜や祝日にはいつも多くのご家族の方がお見えになり、一緒に食事をされたり、散歩に出かけられたりする中、それぞれにのんびりとお過ごしのご様子です。

ご家族とお過ごしの際は、とてもリラックスされた表情をされていることは言うまでもありませんが、ご家族だからこそ分かる、様子の変化やお世話する上での注意点など、職員が教えていただくこともあり、このようなふれあいの時間はとても大切であると思います。これからまた皆さんのご家族のご来苑、お待ちしております。お喜びます。

さて、今回は皆さんがアコモードでどのようなふれあいの時間を過ごされているのか、少しご紹介させていただきます。



○Uさんのご家族の場合

月に2、3回アコモードへ来られる皆さん。主に各部屋で過ごされているそうです。

旬の果物を一緒に召し上がりながら、温泉に旅行に行かれた時の思い出話などに花を咲かせるそうです。

さて、これまで入院される事も多かつたUさん。こうしてアコモードで元気にご家族の皆さんと楽しく過ごせることに、何より幸せを感じていらつうしゃいます。

○Hさんのご家族の場合

Hさんのご家族は、約10日に1度くらいペースでアコモードに来られています。

Hさんの顔色や、相談員をはじめとする職員からの話により、Hさんの近況を確かめていらつうしゃいます。

Hさんからは、よく幼少時代や、結婚前の思い出話が話題になるそうです。その際、ご家族の皆さんがよくお話を聞いてあげること、Hさんもとても気持ちよく和らぐそうです。

さて、お話しを伺う中、Hさんは冷たい飲みものよりも温かい飲みものが、昔からお好きであることを職員に教えていただきました。これから気をつけたいと思います。

○Yさんのご家族の場合

Yさんのご家族は、2、3日おきに来苑され、春秋の暖かい季節には、よく外へお散歩に出かけられます。

平行棒を利用したりハビリを一緒にされることもあり、ご家族からは、もう少し平行棒が長ければもっと良いのですが…とのご希望を聞くことが

もできました。

○Iさんのご家族の場合

Iさんのご家族は遠方よりお車で2時間くらいもかけて、アコモードへ来られるそうです。

Iさんのお話しの中、Iさんがもっとも生き生きされるのは、Iさんが20歳くらい前の故郷の話。今から70年くらい前のお話しなので、ご家族には分からない部分もあるそうです。でもご家族は、Iさんのその他大勢の家族から、その時代の故郷の話を伝え聞いて、Iさんとの楽しい会話を成り立たせるのだそうです。

そしてご家族がご来苑の際、決して忘れないのが、Iさんに家族の近況家の近況の報告。最後に「いつでも帰ってこれるから大丈夫よ。」とお伝えになり、Iさんも安心することができるといいます。



研修発表会

アコモードを代表して研修に参加した職員が講師役となり、研修の成果を発表し、職員全体が勉強する場をもつことになりました。これまで行った発表会の内容は、「よりよい食事介助について」、「新しい余暇について」等です。

左下の写真は、先日行われた「認知症(痴呆)について」という発表会の風景です。この時には、自分が実際に認知症になったら、どんな対応を周りの人にしてもらいたいかという事を考えました。認知症となっても変わらずオシヤレを楽しみたい、外出をしたなどさまざまな意見が出ました。また、一般に問題行動と言われるものについて、その理由を考えました。この中で私たちは、どんな時も(認知症であっても)お年寄りの方の立場に立った援助を行う事の大切さを実感しました。

これからもこのような研修発表会の場を大いに活かし、介護の質を職員一同向上させるため、頑張っていくたいと思います。

ハーモニカの会

毎月第1水曜日。午後2時よりハーモニカの会が開かれます。ハーモニカ演奏を担当してくださるのは、ハーモニカ・メイツ・あびこの高田政夫さん。今回は高田さんについて紹介します。

高田さんがアコモードでの活動を始められたのは今から6年前。増床前には本館3階のホールにて、皆さんにハーモニカ演奏をしておられたのですが、現在は新館3階のホールにて



よりたくさんの方々に演奏をされています。また、活動の拠点も現在では、久遠苑、ハーモニカ教室と多岐に渡ります。曲のレパートリーはなんと300曲！この中から毎回季節にふさわしいものを選びられるそうです。いつも一緒に歌を歌ってくださるボラン

ティアの皆さんには本当に助けられ、感謝しているとされる高田さん。これからも職員一同、この会を盛りあげていきたいと思えます。



リハビリ活動

平成16年7月より、リハビリ活動を今まで以上に専門的に実施していくため、月6回理学療法士の稲垣先生に来ていただいております。

実際にリハビリ活動を行ってくださるのはもちろんのこと、専門的な視点からさまざまなアドバイスもしてください。

稲垣先生は、「高齢者のリハビリ活動は、身体障害者のそれと比べると異なる点も多く、難しいです。」と話される一方、「だからこそやりがいもあります。」と意気込みを語っておられました。

職員も新しく始まったリハビリ活動を適切にお手伝いしていけるよう、頑張ります。



